



おばあちゃん どの 語り



成田 忠 春くん
(脇元小・5年)

おばあちゃん からの ひとこと

入院したりしたもんだから、いろいろと心配してくれてネェ。「がんばれ！」って、言うんです。このまま、気持ちのやさしい思いやりの心を持ち続けてほしいです。(とみさん・75歳)

今月の主な記事

- 地域活性化センター完成……………2
- 安らかにねむって……………3
戦没者追悼式
- 52人が大人の仲間入り……………4
- 津軽半島歴史ウォッチング……………5
- 大沼の伝説・青竜の火まつり……………6-7
- 安藤物語……………8
- おしらせ……………9
- 健康への道……………10
戸籍の窓

病氣なんかに

負けるな

おばあちゃんは、ちよつとからだを悪くして、入院していましたが、いまではだいぶ元気になり、家で仕事を再開するようになりました。

ママセが強い日や、日好強りつける暑い日でも、田田のふたに畑仕事に行っていたおばあちゃん。

春には「いす」「夏には」「フクロ」「シヤ」「キウ」「秋には」「たごころ」「や」「くはやく」「なだ」「たぐん」のついで。

お山さんけい「小馬おのり」も大好きでいつも踊っていた元気なおばあちゃんでも病気には勝てず、「年だナア。小馬おのりもはねれなくなつたナア。」と、弱気をうしています。

今年の「お山さんけい」は、九月十一日の日曜日に行われますが、仲間が踊っているのを、だまっで見ているのでしうか。きつと踊ると思います。ほくとして、みんなこいつしよに踊って、いっもの明るく楽しい、元気なおばあちゃんであつてほしいと思います。「病氣なんかに負けるな」弱気を出さず「フアイトガんばれ！」

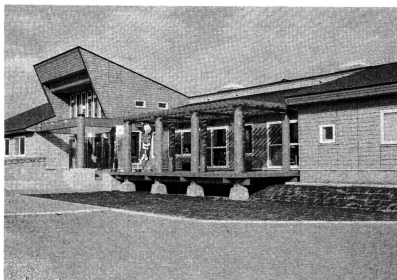
観光・しゅうらの拠点施設

地域活性化センター完成

レストラン「なかのしま」営業開始

着々進む施設整備

安東文化のふるさとづくり



このほど完成した「地域活性化センター」は、交流の拠点施設としても利用されます。

十三湖中の島公園に建設を進めていた「地域活性化センター」がこのほど完成し、レストランなど一部供用を開始しました。

村では、昭和六十年頃から県の「過疎地域活性化プロジェクト事業」の指定を受け「このほど完成した「地域活

性化センター」は、観光・しゅうらの中核となる施設で国土庁の「山村地域資源高度活用促進モデル事業」の指定を受け、昨年十一月着工しました。

同センターは、木造及び鉄筋コンクリート造平屋建てで総面積一千十一・八二平方メートル、総工事費二億二百万円。

内部施設は、市浦牛やしじみ貝など、村の特産品を中心にメニューにした「レストラン」木工品加工などの「体験実習

室」、都市住民との交流を中心にした「交流室」、安東氏に係わる資料などを展示する「歴史民俗資料室」などから成っています。

八月六日からは、同センターのレストラン「なかのしま」がオープンし、夜十時までの営業を開始しました。観光客やケビンハウスの宿泊利用者が高まる中で、メニューが豊富の上、特産物が手軽に味わえるところあって、好評を得ていると聞いています。

「歴史民俗資料展示室」は、現在展示品を取集中でありますが、ここでは史跡めぐりに出かける前に安東氏の歴史について一通り学んでもらうこととしています。

その昔、中の島が安東水軍の拠点地であったように、現在の島を「観光・しゅうら」の拠点にすえ、「安東文化のふるさと・しゅうら」の出発点にしたと考えています。



交流室と体験実習室(左側)



歴史民俗資料展示室



八月六日からは、レストラン「なかのしま」がオープンしました。



菊の花を献花して戦没者の冥福を祈りました



約100人の遺族が参列して行われた戦没者追悼式

安らかにねむって 戦没者の冥福祈る

市浦村戦没者追悼式が八月十九日午前十時から、山村広場の一角にすぎえ立つ「平和観音像」の前で行われました。追悼式には、遺族や村関係者ら約百人が出席、全員が黙とうを捧げたあと、三重賞村長が、「大戦においては、経済的、社会的に大きな犠牲をこうむり、当社においてもその犠牲者は百五十余柱を数えている。祖国の興隆と同胞の安泰を念じつつ散った数多くの

人たちは永久に忘れてはならない。これからも明るく住みよいく村づくりを念頭に村民一人丸となって尽力することを誓います」と、式辞を述べました。

続いて、社団法人青森県遺族連合会の佐々木嘉幸副会長が、「経済的にも、文化的にも日本は世界のトップを競う繁栄を続けている。この平和と発展の礎となったのは、二つ無き命を国に捧げたみ霊の雄

々しくも悲しい犠牲性によるもので、永久に忘れることばできません。」と、また、市浦村遺族会の青山又一会長は、「市浦村戦没者百二十三柱の尊いご遺志を心として、子・孫にいたるまで再びこのような惨事をまねくことのないように心を引きしめて次代に語り伝えます」と、追悼のことばを述べました。

このあと、来賓、遺族らが次々献花をして、戦没者の安らかな冥福を祈りました。

郷土の繁栄を 見守る観音像

平和観音像は、国運を培った諸英霊の遺徳をしのび、人類永遠の平和に祈りを込めて、昭和五十九年八月十二日、遺族、関係者らによって建立されました。

役場庁舎の完成 祝い絵画贈る

—みちのく銀行—



役場庁舎の完成を祝って七月二十二日、みちのく銀行から本村に、十三湖の風景を描いた絵が贈られ、村長室を訪れた人たちの心をなごませて

います。みちのく銀行は、本村の指定金融機関として利用されていますが、新庁舎の完成を祝うとともに日ごろのお礼も兼ねて絵の寄贈を企画。西部雄ヶ沢町出身で青森市在任の示現会会員、神勝之助画伯（83歳）に、新しい庁舎にふさわしい絵を——と、制作を依頼しました。

を運ぶとともに村内数カ所めぐり、十三湖大橋を題材に描いた三十号の絵を完成させました。

この日は同銀行の木村忠夫常務取締役、村田昇小泊支店長らが役場を訪れ、木村常務が目録と絵を三重賞村長に手渡しました。

贈られた絵はさっそく村長室の壁に飾られ、訪れる人たちの心をなごませています。

写真 十三湖大橋を描いた三十号の絵は、みちのく銀行の木村常務（左）から三重賞村長に手渡されました。

記念講演で 安東文化の理解深める

52人が大人の仲間入り 景勝地「唐川城跡」で 決意も新たに



ユーモアあふれるスピーチで自己紹介。
—唐川城跡で行われた成人式—

市浦村の成人式は、八月十四日午前時から唐川城跡の「展望すま屋」で行われまし
今年村内で大人の仲間入りをするのは五十二人（男三十三人、女十八人）。式には新成人二十五人と、主催者ら約四十八人が出席しました。

村では、昭和六十年から夏型成人式を行っていましたが、自然を眼下にした史跡での式典はこれが初めて、今年この式典では、二十歳という記念すべき節目を有意義なものにしよう、と、村内を一望できる景勝地唐川城跡での開催となりました。

標高百二十坪の中腹にある唐川城跡あすま屋からは、緑のじゅうたんを敷きつめたような牧草地、十三湖、日本海が広がり、遠く岩木山を眺望できる景勝地です。式典では、木村義光教育長が式辞を述べたあと、三重買村長らは「わが村は厳し

い風土の中にこそあるが、中世時代からの安東氏の歴史が受けつがれてきた由緒ある土地柄。ふるさと・しろら発展のため、頑張ってほしい」と激励しました。

これに対し、新成人を代表して工藤正勝さんが「第二の人生を踏み出すことになったいまの感激を忘れず、社会に役立つ人間になるよう頑張ります」と誓いの言葉を述べ、一人ひとりが自己紹介をしま

した。式典後は、村教育委員会の萬西安十郎大長が「安東氏と十三湊」を演題に記念講演を行い、大人の仲間入りをした若者たちは、ふるさとに誇りを耳を傾け、安東文化に理解を深めました。

また、広場では祝賀会を開き、参会者たちで和やかに焼き肉や杯を交わしながら、人生の節目で決意を新たにしていました。



久しぶりに会う顔。新成人25人が出席し、安東氏の歴史に耳を傾けました。

献血功勞(銀色有功章)に 奈良源悦さん



三重村長(左)から伝達されました

献血運動を全体的な県民運動として盛り上げるため、毎年七月一日から一カ月間を「愛の血液助け合い運動」が展開されています。

県においては期間中、献血運動推進大会を開き、献血功勞者を表彰しています。

七月二十五日、十和田市で開催された推進大会では、奈良源悦さん(相内)が、銀色有功章を受章。このほど村役場で伝達が行われ、三重買村長から伝達されました。

この章は、献血回数三十回以上の人と与えられるもので本村では、奈良さんが十一人目です。

これまでの受章者は次のとおりです。
丁子谷悟 高松隆三、三和尋子、丸山与七、棟方由美、木村兼一、竹谷泰一、成田義正、中島成雄、山田知枝子

三十日の初日は、弘前バスターミナルを出発し、木造町亀ヶ岡から出土した土器などが展示されている「カルコ」や、スイカ、メロンの選果場

津軽半島歴史ウォッチングが七月三十日から二日間の日程で行われました。
このイベントは、縄文の川、木造町、太宰の里・金木町、安東の里・市浦村、青函トンネルの里、三厩村の津軽半島四町村が、広域ルートで充実した内容の観光を満喫してもらおうと、初めて実施し、弘前市、青森市などから主婦を中心に三十八人が参加しました。

いにしへのロマンを求めて 津軽半島 歴史ウォッチング

半島四町村が連携 手づくりのバスツアー



野外パーティーでは、十三湖特産のしじみ汁を食べながら楽しいひとときを……

を見学したほか、金木町の斜陽館、太宰治記念館、午後からは安東の里・しらの史跡めぐりや、モデル木造施設めぐりや、ホテル等を見て回りました。夕食は、十三湖中の島アリッパパークで野外パーティーを開き、村教委の葛西安十郎教育次長から「安東氏と十三湊」についての講話、十三の砂山保存会による「十三の砂山踊り」を観賞し、夜は、新築した「ケビンハウス」に泊まりました。
翌日は、小泊町の竜泊ライ

自然の中で 友情深める 子供会リーダー研修会

テント張りや炊事に なれない手つきで汗



どうしてこんなにうまいんだろー



ファイアーを囲んだ友情の輪



今夜はテントに寝るのよ

団体生活を通して、自主的な判断力と実践的な行動力を身につけよう。豊かな自然の中で楽しい野外活動の技術を学びとり、すばらしい友情をつくり出そう。と、村内小学校五学年による「ジュニアリーダー研修会」が、七月三十一、三十二の両日、十三湖中の島公園キャンプ場で開かれ、約五十人の子供たちが、テントの設置や炊事づくりなどに歓声を上げました。
この研修会は、例年夏休み中に単位子供会のリーダーを集め、村教育委員会と村子供会育成会連絡協議会が主催して開いているものです。
夜には全員がキャンプファイアーを囲んで、歌やお話など、楽しい思い出をつくりました。

身につけよう。豊かな自然の中で楽しい野外活動の技術を学びとり、すばらしい友情をつくり出そう。と、村内小学校五学年による「ジュニアリーダー研修会」が、七月三十一、三十二の両日、十三湖中の島公園キャンプ場で開かれ、約五十人の子供たちが、テントの設置や炊事づくりなどに歓声を上げました。
この研修会は、例年夏休み中に単位子供会のリーダーを集め、村教育委員会と村子供会育成会連絡協議会が主催して開いているものです。
夜には全員がキャンプファイアーを囲んで、歌やお話など、楽しい思い出をつくりました。

夜空に広がる大輪

市浦牛・しじみ汁

うまいなあ

第三回東日流安東まつりは七月二十二、二十三の両日相内地区の大沼公園で行われました。

鎌倉時代、津軽安東氏は、北条執権と親密な関係にあり、安東氏を中心に環日本海文化圏構築の先導的な役割を果たしていました。

交流新時代を迎えたいま、安東氏の独創的な生き方を村おこしの原動力にすえ、昭和六十一年以来、東日流安東まつりを開催してきました。

今年は特に、近代木造建築では日本一の高さを誇る役場

大沼の伝説 青竜の火まつり

庁舎が完成したことから、その完成を記念し、さらに充実したまつりにするため、辰年にちなんで「大沼の伝説・青竜の火まつり」を創設したものです。

まつりでは、相内小学校の鼓笛隊を先頭に、脇元の小馬踊り、十三の砂山流し踊り、相内の坊さま流し踊りが村内を流しました。

大沼公園の特設舞台では、村内地区婦人会の芸能発表大会や、カラオケ大会が行われ、パーベキューガーデンでは「市浦牛」のパーベキューや



ヤマセの強い寒いまつりでした



リレー式でたいまつに点火しました



相内小鼓笛隊



元気に行進する相小児童



脇元の小馬踊り



十三の砂山踊り



大沼公園で開かれた開会式



商工会婦人部のみなさん

第3回

東日流安東まつり

花火大会に5000人

十三湖特産「しじみ汁」の食べ放題など、市浦の味を満喫していました。

また、村内の史跡めぐりでは「史跡めぐりバス」が運行され、教育委員会の葛西安十郎教育次長の説明に、参加者らは興味深く聞き入っていました。

二目の二十四日には午後六時から大沼公園の「あずま屋」で、洗磯崎神社の松橋浄嗣宮司により「採火式」が行われ、三重貞村長から子供会育成会連絡協議会の浜田春士会長に「タイムツツの火」が手渡されました。
この日はあいにく強いヤマセに悩まされましたが、約五千人の人たちが花火見物に訪

れ、大沼周辺には村内の子供会会員五百人が整列。次々とタイムツツの火がリリースに点火されました。

赤々と燃えるタイムツツの火がリリースされる中、白装束に身を包んだ洗磯崎神社氏子青年会のメンバーたちが、大沼にセットされた「青竜」に火矢を放ちました。

青竜に点火、昇天すると同時に火花が打ち上げられ、大スターマイン、ナイヤガラ、大仕掛大スターマインなどが次々と燃え、打ち上げられた火花は大輪となって夜空に広がり、大音響とともに水面を照らす鮮やかな彩りをたのむしていました。



大沼公園「あずま屋」で行われた採火式



大沼公園のふれあいに

飛ぶように売れた牛肉



家族連れでバーベキュー



しじみ汁の食べ放題

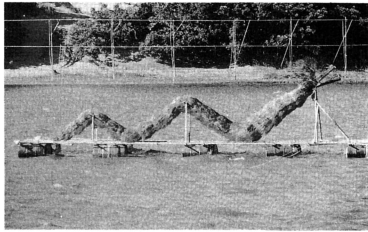


流安東まつり

テレビ子カラオケ大会



佳佳の花火で安東のふる里が



大沼にセットされた「青竜」。



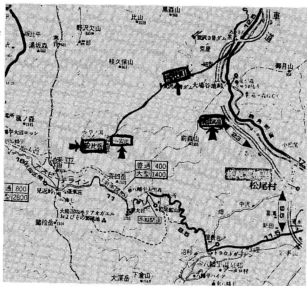
大沼の周りにはトーチで囲まれました

安藤物語

▶ 3 ◀

安藤氏の先祖 (3)

安比高原



(天台寺、安比村はこの北東に位置しています)

天台寺附近の安比

昭和五十八年十月三十一日に、私たち「市浦村史編纂委員会」一行が、岩手県二戸郡浄法寺町にある天台寺に参拝したことがあります。地図を携りに行ったのですが、「安比」(アツビ)という名がたぐさん出ているのに驚きました。

八幡平の東北に一四五八メートルの「安比岳」、その近くに「安比温泉」、またこの山が高嶺を發して北流する「安比川」、近くの高原一帯は「安比高原」(以上上掲地図参照)、天台寺の北に安比川沿いの部落を「安比」といっています。このように、「山名」や「

温泉名」「川名」「高原名」「字名」に「安比」(アツビ)がつけられて残っているのは、何かそこに歴史的な背景があるのではなからうかと強い関心を持ったのです。

安比は安日彦からでは

この辺一帯は、平安時代末期に前九年の役で、源頼義・義家に敗れた安倍頼時・貞任ら(安日彦の後裔)の勢力範囲で、一族の安倍高忠が夷侍長として支配していた所でした。

残念なことに、この高忠は頼義らの討略に乗せられて、安倍頼時に反旗をひるがえしたために、安倍氏が敗軍となつたわけですね。前号で述べたように「火」のことをアイヌ語ではアツビといいますが、こんなことをいろいろ考えてみますと、この地方に安倍安藤氏の先祖の「安日彦」伝承が残されていたために「安日」を「安比」としたのではない

かと思われてなりません。また、「安日」を「アベ」と読んでいる本もありますので、「安比」から転訛した「安比」かも知れませんが、安倍安藤氏の先祖とされる「安日彦」と強いかわりを持つているものと思われ

ます。素人の私には、天台寺の建立されている地内(境内)が古代の蕃跡のように考えられたことをつけ加えておきます。

安日山高乾寺院

もう一つは、わが津軽安藤氏の後裔で秋田の漆家(上田安東家)を合わせた愛季(下田安東家)の子実季(秋田城介)が秋田姓を名乗りましたが、茨城県の穴戸(現友部町)に秋田から転移されて、更に福島県の三春に移封されて、明治維新を迎え子爵に叙任された。映季の時です。

子重季、その子一季が現当主です。その秋田家の菩提

寺が高乾寺院です。この山号が「安日山」で、「あんび」山と発音しています。これは明らかに先祖「安日彦」とつた山号か「安日」(安倍)の姓からきたものでしょう。「あんび」「あつび」「あべ」等みな通じるものなのでし

ようか。「安日」「安倍」「安比」もみな同一のように考えられないことはないようです。

まとめ

以上、つまらぬことを述べましたが、浄法寺町の附近の「安比」、三春町の「安日山」をとり上げて、津軽安倍安藤氏の承因における「安日彦」伝承とかわりがあるので推測したので

次号では、更に秋田家では先祖をどのように考えていたものでしょうか。そのことを追ってみることに致します。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



奈良家のワンバクアイドル
元気がいっぱい元ちゃんたち
を圧倒しています。

三男隆 佳ちゃん
(二歳八ヵ月)

すこやか日記



「1人1年金」が原則です

◆1人で2つの年金は受けられません

61年4月にスタートした新年金制度では、2つ以上の年金の受給権を取得したとき、本人の選択によっていずれか1つの年金だけが支給されます。

ただし、国民年金の基礎年金と厚生年金保険の報酬比例の年金は、その支給事由(老齢・障害・死亡)が同じときは一体のものみなされ、あわせて受けることができます。

◆選択するときには申出書の提出が必要ですよ。

住宅統計調査にご協力

全国約370万世帯を対象に10月1日現在で、「住宅統計調査」を実施します。

この調査は、昭和23年以来、5年ごとに行われ、今回は9回目に当たります。

調査の結果は、住宅建設、環境整備など、私たちの生活に密着した問題について、国や都道府県、市町村が対策を進めるための基礎資料として利用されます。

調査員が調査票の記入のお願いに伺いますので、ご協力くださるようお願いいたします。

○青森高等技術専門校
青森市野尻字今田四三二一
0177-50665

行政書士試験の実施

昭和63年度の行政書士試験を次のとおり実施します。

▶期日 10月23日(日)

▶場所 青森市長島一丁目
青森県農業会館

▶受験資格 次のいずれかに該当する者

- ①高等学校を卒業した者
- ②国または地方公共団体の公務員として3年以上行政事務を担当した者
- ③知事が①、②と同等以上の知識師力があると認定した者

▶願書の提出 9月1日から9月20日までに、県文書課へ提出してください。(願書の交付は9月20日まで。郵送を希望する場合は、あて先明記の返信用封筒と120円分の切手を同封)

詳しくは、県文書課(内線2078~2081)へお問い合わせください。

生命保険と税金

多くの家庭では、病気や交通事故など突然の災害に備え、生命保険に加入しています。

生命保険に加入すると、支払った保険料の額に応じて、一定額が総所得金額から控除されて税額が計算されます。

また、保険金を受け取った場合は、その保険の契約形態によって相続税、贈与税又は所得税がかかります。

詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署にお尋ねください。

忘れないでネ。

休診のお知らせ

予防接種のため、13日は内科が午後休診となります。

また、糖尿病教室のため、14日は内科が午後休診となります。

乳児健診・離乳食指導

期日 9月8日(木)

場所 幹幹集落センター

受付時間 12:30~13:00

対象 健康 S 62.9.1~S 63.6.30

◎母子健康手帳を持参してください。

二種混合予防接種

期日 9月13日(水)

場所 各小学校

時間 13:30~15:30

対象 小学校6年生

(S 51.4.2~S 52.4.1生)

第5回 糖尿病教室

期日 9月14日(木)

場所 市浦診療所

対時 13:30~15:30

対象 糖尿病患者及び家族

内容 食品交換の実際

講師 市浦診療所長、栄養士ほか

県立高等技術専門学校 学生募集

青森と八戸の高等技術専門学校では、昭和六十二年度能力再開発訓練の後期(十月入校)学生を次のとおり募集します。

一、募集対象者

離職した人あるいは転職を希望している人で、技能を身につけ、新しい職場に就職するため、公共職業安定所に求職中の者

二、募集訓練科の定員・期間

校名	訓練科名	定員	期間
八戸	縫製科	一〇	六ヵ月
青森	縫製科	二〇	六ヵ月

三、募集期間

九月十七日まで(願書の受け付けは各公共職業安定所)

四、選考日

九月二十二日(木)

詳しくは、各高等技術専門学校最寄りの公共職業安定所または県職業能力開発課(内線23361)へお問い合わせください。

○青森高等技術専門校

青森市野尻字今田四三二一
0177-50665



がんは死亡原因のトップ

予防策を考えよう

でいば、火の用心。にあたります。

見・早期治療ができれば、完全治癒となることも少なくありません。

あなたを守るのは、あなた自身です。あなたのため、積極的に健康づくりに励みましよう。

がんは日本人の総死亡の四分の一を占め、死亡原因のトップとなっています。

しかし、健康増進・疾病予防(一予防)や早期発見・早期治療(二予防)を行うことによって、がんによる死亡を防ぐことが可能になります。では、具体的に何をすればよいのでしょうか。

一次予防は「火の用心」

◇バランスのよい食事をすると
◇たばこやアルコールのとり過ぎに注意
◇高塩食品を避け、脂肪およびエネルギーをとり過ぎないようにする
◇熱すぎる食物、肉や魚のこげもなるべく避けたほうが良い。

◇これは「がんにかからないうようにする」予防で、火事が

二次予防は「初期消火」

◇毎年一回は定期検診を受診
◇主治医とともに疾病の早期治療・健康づくり

これらは、もしがんにかかった場合に「手遅れにならないようにする」予防で、火事であれば、初期消火にあたります。

がんにかかっても、早期発見



20歳のちか

新成人代表謝辞
決意を新たに
悔いのない人生を



工藤 正勝さん

成人として第二の人生を一步踏み出すことになりました。これまで私たちは、両親や社会のあなたを保護の中で暮らしてきましたが、社会の一員として独立した生活を送り出すことは、私たちの誇

りであり、大きな喜びでもあります。しかし、未知の世界へ迷い込むような不安はないわけではありません。

社会に生きる一員として、自分がしなければならぬことを見きわめて、新しい本道の人生を正しく生きていく決意だけは持っています。困難な事態にあっても、自分があるかも知れません。ものにますぐこともありません。その時はみなさんの

尊い人生経験を私たちの指標としてお示しください。それが私たちの前途に明るい灯となるではありません。

私たちがこれからの人生が決して平坦なものでないことも覚悟しています。みなさまの激励とご指導を唯一の杖と願っています。幾山河を乗り越えて行きたいと思えます。そして振り返ってみて、自分の歩いた道は間違っていないか、と言いつけるような人生を歩みたいと思っています。

戸籍の窓



お誕生

奈良文也(太田) 文正
熊澤彩楠(十三) 広
三和龍馬(相内) 清規
藤田聡一郎(磯松) 法雄
三和大地(相内) 金春
中山浩(磯松) 明弘

ご結婚

佐々木 誠(中里)
山本 恵美子(太田)
鈴木 郁好(相内)
弓削美 好(千葉)

おくやみ

丸山 正喜(太田)
奥 しのぶ(島根)
鳴海 彰雄(太田)
工 藤美才恵(太田)
中 濱光昭(相内)
三 和広子(相内)
二 藤部孝幸(脇元)
相浦 輝子(山形)
鳴海 久幸(相内)
鳴谷 睦子(木造)
加藤 淳一(藤崎)
今 裕子(相内)
中村 一志(五所川原)
成田 みゆき(脇元)
相川 浩二(十三)
相坂 裕美子(千葉)
相坂 嘉人(十三)
高橋 美恵子(黒石)

成田 ハナヨ(相内) 68歳
下澤 章造(太田) 70歳

こんにちは赤ちゃん

宮本兼政さん(脇元)
2女 鮎華ちゃん
(6カ月)
お座りしたり、寝ころんだりしながらあいきょうをふりまっています。

